

～後世へ引き継がれる想い～

<高木 貴行卒業生より>

2008年に歴史と伝統のある多治見青年会議所に入会をさせて頂き、11年が経過しました。入会同期を含めて、多くの先輩・後輩と良き仲間恵まれ、楽しく実りのあるJC生活であったと感謝しております。まずは卒業にあたり、皆様に感謝を申し上げます。

JCに入って良かったと思うことは3つあります。

1つは先ほども伝えたように、多くの仲間と出会えたことです。

2つ目は、入会当初に諸先輩から厳しい意見や指導をして頂いた事です。

私は岐阜県議会議員に当選後に入会しました。30歳前の若輩者であった私ですが、世間では県議として大変扱いづらい存在だったと思います。しかし、多治見青年会議所だけは違いました。新入会員として多治見青年会議所の歴史や伝統、更に社会人としてのマナーや礼儀を伝えて頂きました。厳しく伝えられたり、怒られたりすると最初はこちらも腹が立ちましたが、「知るは一瞬の恥、知らぬは一生の恥」という云われているように、怒られた瞬間は腹が立ち恥ずかしい思いをしますが、怒られなければ一生恥ずかしいことになっていたと思うと、私のにとって貴重な財産となっております。

3つ目は、組織の運営、マネジメントを学ぶことが出来たことです。

多治見青年会議所は近年人数が減ってきているものの、現在も30人以上のメンバーが在籍しております。理事長をトップに、副理事長、常任、委員長と役割があり、経験を積む中でその役職を任せられていきます。会社で例えると、社長、取締役、部長というような状態だと思います。その各役割を遂行する中において、どのようにメンバーを動かし、想いを伝えていくのか。会社であれば社員をどう動かしていくかと同じであり、その経験が出来ました。11年は長いと思っていましたが、多治見青年会議所において全てが良い思い出であり、私にとって素晴らしい経験でありました。是非後輩の皆様もJCライフを楽しみ、チャレンジして欲しいです。最後に今後の多治見青年会議所の発展とメンバーの活躍を祈念申し上げます。



<正村 大治卒業生より>

本年度、多治見青年会議所を卒業させて頂きます正村大治です。入会して6年ですが、入会当初からやらなければならない事、参加しなくてはならない事業、様々な事で時間を取られ、なんて団体に所属してしまったんだと後悔する事が多々ありました。

ですが、1年毎に役をこなしていく中で、いろいろな人との出会いや、スケジュール管理の仕方、自分に足りていない部分に気が付いたり多くの学びを得る事が出来ました。役を受けた当時は嫌で仕方がない事だらけですが、終わってから振り返り反省し、その反省を自分の会社に生かす事が出来る場です。多治見青年会議所は自社を支えていく上で必要な多くの学びを得れる所です。

6年間のJC生活で一番の思い出は委員長を経験した事です。理事長の想いを組んで自分のしたい事を考え理事メンバーに理解してもらおう大変さや、副委員長や委員会メンバーに対しての頼み方、事業の事前準備の大変さなど、本気でJCを辞めてやる！って考えた事が何度もありました。でも、理事長が自分なら委員長が出来ると思い声を掛けて頂いた事や、同期委員長も同じ想いで頑張っている姿、執行部会で庇ってもらっていた担当副理事長や、貴重な時間を割いて意見をくれる委員会メンバーに助けられ役割を全うする事が出来ました。苦しい1年でしたが、忘れる事の出来ない1年となりましたので、まだ委員長を経験していないメンバーは是非委員長を経験し、JC生活を終えて頂きたいと思います。

青年会議所はトレーニングです。仕事だから行けません。はスケジュール管理の出来ていない自分の問題です。メンバーが手伝ってくれないのは頼み方の問題です。どうしよう?ではなくどうしたら上手く行くかを良く考え実行できる場が青年会議所です。来年以降に卒業を迎えるメンバーには是非、苦しんで、楽しんで、笑って、活動してもらいたいと思います。6年間多くの学びをさせて頂きありがとうございました。



<若尾 淳一卒業生>

長かったはずの10年が、気づいてみればアッという間に過ぎ去り、まだまだ先だと思っていた「卒業生」という役がついに私にも回ってきました。そして、40歳という年を取ってしまったことの悲しみと青年会議所を卒業しなければいけないという寂しさで今は、胸がいっぱいです。

青年会議所の活動は、本当に勉強になりました。1つの簡単な物事でも深く考える事の大切さや人と人との関わり方、責任感と使命感を持ち、意地と根性を持つことを学びました。また、苦楽を共にし、分かち合い、信じあえるたくさんの仲間たちと知り合うことができたことは誇りに感じ、これからの自分の「たからもの」にしていこうと思います。

最後に、尊敬する先輩から教えて頂いた日本青年会議所の2000年代運動指針の一説を加えさせて頂きたいと思います。

二度とない人生だから	志を高く持とう
愛する我がまちだから	夢をかたちに変えていこう
二つとない国だから	日本の未来をこの手で創ろう
かけがえのない地球だから	すべてのものとともに生きよう
時代をきりひろくのは	我々青年の使命である

(社団法人 日本青年会議所 2000年代運動指針より引用)



現役メンバーの皆様、仲間を信じ、自分を信じ、邁進してください。
10年間、大変お世話になりました。関わってくださったすべての皆様に、心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。



JCI クリード

The Creed of Junior Chamber International
We Believe;
That faith in God gives meaning and purpose to human life;
That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations;
That economic justice can best be won by free men through free enterprise;
That government should be of laws rather than of men;
That earth's great treasure lies in human personality;
and That service to humanity is the best work of life.

JC 宣言

日本の青年会議所は
混沌という未知の可能性を切り拓き
個人の自立性と社会の公共性が
生き生きと協和する確かな時代を築くために
率先して行動することを宣言する

綱領

われわれ JAYCEE は
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者、相集い、力を合わせ
青年としての英知と勇気と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう。